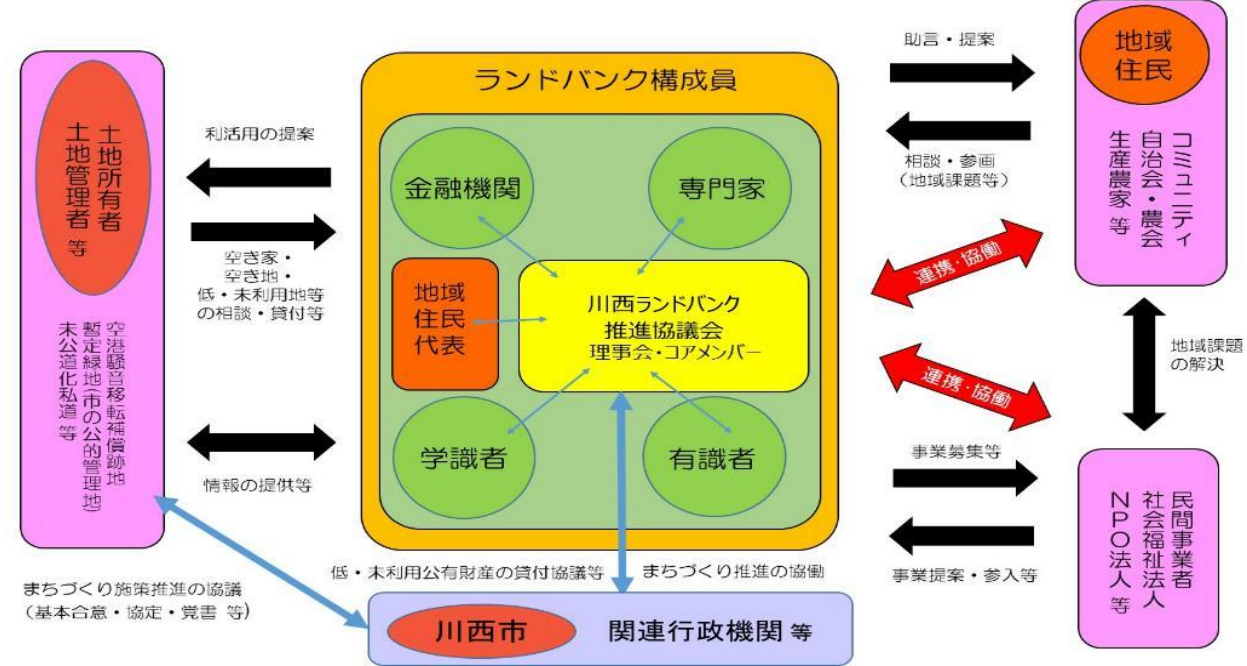


対象地域	対象地域の特性	地域が抱えている課題	主な取組内容
兵庫県川西市南部地域(東久代むつみ地区)	空港の離陸コース直下に位置し、国による航空機騒音対策移転補償事業で、移転補償跡地が蚕食状に点在。今なお約11haの移転補償跡地が未利用地のままとっている。	未活用の移転補償跡地の適切な利活用や流通化、住民が要望する私道の公道化や狭隘道路の拡幅、にぎわいの創出、利便施設の誘致、住民にとってウエルビーイングな居場所づくりが必要。一部の移転補償跡地は、民間不動産業者による所有・転売が近年発生しており、乱開発が進むことの不安や民間不動産業者に対する不信感が増加。また、高齢化に伴う空き家・空き地予備軍、買い物難民対策等も必要。	●低未利用公有地(約700㎡)を利活用し、にぎわい創出の事業拠点とにぎわい交流広場を整備 ●老朽化した東久代むつみ自治会館を建替しリレイアウト ●ボーイスカウト団体が既設のコンテナ倉庫3基を1基に整理集約 ●旧会館等の除却および土地整備に係る事業 ●広場整備事業の実施計画策定(活動・利便施設等配置の詳細設計) ●交流・居場所づくり事業、産直市場等の地域課題解決型事業の実施

事業内容・スキーム

- 低未利用公有地を民間・住民主体による柔軟な運営手法で利活用し、地域内外にオープンな空間を作り、地域課題の解決、まちのにぎわい創出をはかり地域コミュニティを再生を目指す。
- にぎわい創出事業の拠点・交流広場の整備(第1期はリレイアウトで再整備スペースを創出)を通したエリア全体のにぎわい創出をはかる社会実証の実施及び第2期(第1期で創出のスペースを再整備)の基本設計を行う。



モデル事業による取組成果

産直市場等の社会実証の通年開催 1年を通して、毎週土曜日に対象地(産直市場)での交流カフェの開催。 夏の期間はいちじく即売会の隔日での開催。 広場整備と並行して、社会実証を行うことによって、住民との信頼関係構築と協働の意識を醸成できた。	広場整備の進展 第1期ににぎわい創出広場整備事業として、にぎわい広場の整備(旧自治会館・コンテナ等の除却、整地、除草、砂利引き工事等)を完了した。 整地等については、住民と協働して作業を行い、利活用の意識醸成・広場への愛着の形成とともに、協働によるコストの削減も実現。	NPO法人化の完了 団体のNPO法人化が完了。所有者不明土地利用円滑化等推進法人指定へ向けた検討を進め、来年度の推進法人の指定を目指す。
--	--	--